

(別添様式1) ※A3判(1枚)に収める。「わがまちの道徳教育推進プラン」の内容と事業実施計画書及び報告書との整合性に留意して記載すること。

わがまちの道徳教育推進プラン		所管する小学校名	田野小学校	校数	1校	計	2校
田野町教育委員会		所管する中学校名	田野中学校	校数	1校		
道徳教育推進方針		学校・家庭・地域が一体となった道徳教育の推進 - 夢や目標をもち、地域をよりよくしようとする子 -					
年度当初の拠点地域の状況		到達目標	中間検証 (下半期に向けての改善事項)	到達目標達成状況			
<p>今年度当初に、地域の児童生徒の道徳性の実態を把握するために行った道徳意識調査の結果から、7項目中4項目は、肯定的回答が80%以上であった。「家の人と道徳の話をしたり、『家庭で取り組む 高知の道徳』を読んだりしている。」の項目は肯定的回答の割合が最も低く、33.9%となった。また、「自分には、よいところがあると思う。」という項目においては、75.0%であり、学年が上がるにつれて自尊心が低くなる傾向が見られた。</p>		<p>道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上</p> <p>①道徳の学習に対する意識を3ポイント以上向上 ②「家の人と道徳の話をしたり、『家庭で取り組む 高知の道徳』を読んだりしている」5ポイント以上向上 ③「自分には、よいところがあると思う」3ポイント以上向上 ④「将来の夢や目標をもっている」3ポイント以上向上 ⑤「人が困っているときには進んで助けている」2ポイント以上向上 ⑥「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」3ポイント以上向上</p>	<p>到達目標としている道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上については、中間検証では②44ポイント、③6ポイント、それぞれ向上している。</p> <p>②については、道徳教育推進教師を中心に、道徳通信で家庭に「高知の道徳」で扱われている内容について知らせたり、家庭学習として取り組ませたりすることで活用を更にすすめる。③については、小学校・中学校それぞれの公開授業研修会における講師招聘の機会を活かし、田野町の課題である「自尊心を高めるための取組」についての講話を聞く。研修は小学校・中学校ともに悉皆研修とし、管内の教職員全員が学び、実践していくことにつなげる。</p>	<p>①道徳の学習に対する意識は、2.6ポイント向上したが、到達目標は達成できなかった。③「自分にはよいところがあると思う」の項目は中間検証時には6ポイント向上していたが、年度末検証では少し下がり、年度当初からは1.4ポイントの向上となった。自尊心に関する取組については、学年によって継続的な取組にバラつきがあった。また家庭・地域との連携が弱かったことが要因として考えられる。</p> <p>②「家の人と道徳の話をしたり、『家庭で取り組む 高知の道徳』を読んだりしている」については、道徳教育推進教師を中心に活用をすすめた結果、63.2ポイントと大きく向上した。今後も小・中学校で連携を取りながら、活用を続けていきたい。</p> <p>②④⑤⑥は達成。①③は未達成。</p>			
到達目標達成のための取組		取組計画			指標達成状況の分析		
取組項目	取組の評価指標	5月～8月	中間評価	9月～2月 (中間検証を踏まえての追記・変更可)	達成状況	年度末評価	
道徳教育の主体的な推進体制の整備	◆道徳教育推進地域の小・中学校において、道徳教育推進のための校内体制ができています。	①道徳教育推進会議(3回) ・各校の道徳教育推進教師を中心とした推進体制の確認 ・児童生徒意識調査結果の協議・取組策の検討	B	②道徳教育推進会議(3回) ・意識調査の検証を踏まえた取組改善策に基づく実践の報告・検証	・道徳教育推進会議(年7回)では、児童生徒意識調査結果の協議、取組策、意識調査の検証を踏まえた取組改善策に基づく実践について、小・中学校で情報交換をしながら報告・検証ができた。	A	
道徳科の趣旨を踏まえた指導方法及び評価の在り方に関する道徳の授業実践の研究	◆各校の道徳授業力チェックシート【教師用】【児童生徒用】におけるポイントを年度当初より向上させる。	①公開授業研究(中学校)で授業に関する協議を行う。(講師招聘) ②道徳教育推進協議会において道徳授業力チェックシートの結果の協議・各校の授業改善策の検討	C	①公開授業研究(小・中学校)で授業に関する協議を行う。(講師招聘) ②講師による講話で、道徳の授業づくりや指導方法、評価について学ぶ。 ③各校で道徳授業力チェックシートを活用し、結果についての協議・授業改善策の検討を行う。	・道徳授業力チェックシートの質問項目「4.学習構成」「6.発問」の平均値【教師用】「2.7」「2.9」【児童生徒用】「3.8」「3.9」 ・講師による講話から、自尊心を高めるための取組や多面的・多角的な見方・考え方と養う授業づくりについて学ぶことができた。 ・道徳授業力チェックシートは活用できたが、活用の見通しが不十分で、結果についての協議・授業改善策の検討までは行うことができなかった。	B	
小小連携・小中連携による小・中学校の道徳教育の充実	◆各校の「道徳通信」を持ち寄り、情報交換をする。 ◆小・中学校の公開授業研究に、管内の教員は全員が参加し、取組の共通理解を図る。	①各校の「道徳通信」を持ち寄り、情報交換をする。	B	①公開授業研究(2回) ・管内の教員は全員が参加し、異校種間の授業を見合う。 ②各校の「道徳通信」を持ち寄り、情報交換をする。 ③道徳教育推進会議における取組の成果報告、改善策の検討	・公開授業研究参加総数70名 ・道徳通信を持ち寄っての情報交換3回 道徳教育推進会議(年7回)のうち3回を田野町幼小中一貫教育研究会と兼ねたため、小・中学校だけでなく、幼稚園とも連携できた。幼小中で統一した取組についても検討することができた。	A	
学校・家庭・地域の連携を図ったまちぐるみでの道徳教育の推進	◆「高知の道徳」を活用した道徳参観日を実施する。(各校1回) ◆「道徳通信」や「学級便り」等で高知の道徳を活用した授業や懇談会について掲載する。	①家庭・地域との連携の方策の具体策の協議 ・「高知の道徳」の計画的な活用	B	①道徳参観日(2校) ・道徳参観日の取組を「道徳通信」や「学級便り」等で発信 ・保護者参観アンケートの取りまとめ・分析 ②今後の家庭・地域との連携の方策の具体策の協議 ・次年度の取組について検討	・「高知の道徳」が計画的に活用できた。 道徳意識調査で「高知の道徳」に関する項目の肯定群97.1% ・道徳参観日がよいきっかけとなった。保護者からは「個人の意見を大事にしている」「ICTの活用がよかった」などの意見をいただいた。 ・道徳参観日の地域への呼びかけや地域の方とともに学べる機会の設定について検討したい。	A	

※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)